

日露和親条約締結150周年記念
ロシア連邦国立ペルミバレエ学校創立60周年記念
(第2次世界大戦中、ワガノワバレエ学校の疎開先がペルミ市で、終戦後ペルミに残った)
(ワガノワバレエ学校が1945年にペルミバレエ学校と改名して現在に至っています。)

ロシア国立 ペルミバレエ学校 日本校

(2005開校)

[ペルミ・ワガノワバレエ教師養成学校]

学校案内 2023年

通 信 制

— ペルミ・ワガノワ教授法総合校 —



ロシア国立ペルミバレエ学校 日本校
ПЕРМСКО-ЯПОНСКИЙ БАЛЕТНЫЙ ИНСТИТУТ

本校の経緯



ロシア国立名誉勲章ペルミバレエ学校は、ペルミ市に1945年4月2日に設立されました。

第2次世界大戦中にレーニン勲章キーロフ記念レニングラード労働赤旗勲章ワガノワ記念バレエアカデミーバレエ学校を母体として疎開先のペルミ市に設立されました。

設立当初から長年にわたり、キーロフ劇場の元ソリストで、ワガノワの生徒であり信奉者である、教師のゲイデンレイフ・エカテリーナ・ニコラエブナがペルミ・バレエ学校の芸術監督を務め、ワガノワ薫陶に続く多数の教師を育成しています。

1973年からソ連およびロシア人民芸術の称号を持ち、グリンカ記念国家賞を受賞したロシア功労教師、ペルミ市およびペルミ州名誉住民のサハロワ・リュドミラ・バヴロブナが芸術監督を務め、現芸術監督は、日本校の芸術監督でもあるバレエマスター教師資格、ロシア連邦功労教師であるタルストゥヒン・ヴラジーミル・ニコラエビッチです。また、前校長は、ロシア功労教師の称号を持つ、シェフチェンコ・リュドミラ・ドミトリーエブナであり、現校長は、サスニナ・ダリア・ニコラエブナ、副校長のゴーゴレバ・リリア・リュボーブナは日本校の校長を兼任しています。

さらにペルミバレエ学校は、2006年11月にローザンヌバレエコンクールの指定校（パートナー校）に認定されています。



ごあいさつ



ロシア国立ペルミバレエ学校日本校

理事長 内田 昭二

理事 坂下 俊彦 理事 村松 永成 理事 久保 利夫 理事 陸川 有紀

本学の設立目的は、世界中でクラシックバレエの基本指導法として位置づけられているロシアの「ロシアバレエメソッド（通称：ワガノワメソッド）」を修得したバレエ教師の育成と指導方法の維持・向上をサポートし、才能ある生徒さんへ責任をもって指導できる体制を整える事です。

第2次世界大戦中にワガノワバレエ学校が疎開した先がペルミ市であり、終戦と共にワガノワバレエ学校はサンクトペテルブルグ市に戻り、ペルミ市に残ったワガノワバレエ学校が名称を変更して1945年に設立されたのがロシア連邦国立ペルミバレエ学校です。

日本に公式に正統なワガノワ教授法を伝承し定着発展させていくために必要不可欠な事は、公なロシア連邦国立バレエ学校の指導部の全面的な協力です。正式な教授法ライセンスの取得、それを体系立てて指導監督する現役の芸術監督・教師の直接指導が最重要と考え、1990年前半まで閉鎖都市であったためワガ

ノワ教授法の伝統を唯一継承していると言われているペルミバレエ学校に協力を要請しました。その、ペルミバレエ学校と業務提携を結び、姉妹校として設立されたのがペルミバレエ学校日本校です。

本学は2005年4月に開校し皆様の支持の基、今年4月で16周年を迎えることができました。既に卒業生・在校生200名以上の方々が日本全国にて、正統なワガノワ教師として活躍しております。今後は、本学を卒業したバレエ教師が自己流の指導方法に陥ることなく、ワガノワバレエ教授法の質の維持、そして向上がしやすいような新たな指導体制を充実させて参りたい所存です。

開校にあたり、ご尽力いただきました在日ロシア大使館、ロシア連邦外務省付属ロシア連邦文化交流庁、日本外務省にあらためて感謝致します。



ロシア国立ペルミバレエ学校日本校

校長 ゴーゴレバ・リリア・リュボーブナ

1986年 教育大学 文学部卒業

1997年 ロシア国立ペルミバレエ学校 副校長に就任

2005年 ロシア国立ペルミバレエ学校日本校 校長に就任
ロシア本校副校長兼務

親愛なる皆様へ

クラシックバレエは正確なテクニックが求められる踊りです。このクラシックバレエの深い知識を持たずに生徒を指導することは、無用な怪我を引き起こす危険性があります。バレエ教師は、時代の変化に従い新たな知識を学び、教授法を深めていかなくてはなりません。

時代が変わり、バレエを学ぶ子供達の身体も、ダンサーに求められる容姿も変わりました。ワガノワは、自分の教授法も普遍のものと考えていませんでした。ワガノワの訓練法も時代を反映し、変化しないとならないのです。コンクールが増え、バレエ教師には芸術性を損なわずに、高度なテクニックを早く身に付けさせることが大切な課題となったのです。

バレエの訓練では、教師の知識、経験、感受性が決定的な影響を与えます。それは教師の計画の立て方と教授法をいかに習得しているかに掛かっているのです。ワガノワ教授法はカリキュラムに定められた課題を習得するために綿密に練られたアンシェヌマンを持っています。それは教師が思い付きで作ったアンシェヌマンに比べてはるかに有益なものです。ワガノワバレエ教師は、このロシアバレエ教育の成果である8年制バレエ教育の模範的なアンシェヌマンの組み方、示し方、指導の仕方を徹底的に訓練され、学ぶことによって生徒に無駄なく、正確なテクニックと音楽性、舞踊性を教えることができるようになるのです。

私どものバレエ教師教育が日本バレエ界の発展と日露バレエ界の友好の礎となることを期待します。

推薦のことば



駐日ロシア連邦 特命全権大使

M.Y. ガルージン

ロシア国立ベルミバレエ学校日本校の理事長、教師、学生の皆様へご挨拶の機会をいただき大変喜ばしく存じます。

ベルミバレエの歴史は、第二次世界大戦中の苦しい時代に始まりました。1941 年 8 月、S.M. キーロフ記念レニングラードアカデミー歌劇場バレエ団（現 国立マリインスキーアカデミー劇場）はベルミ市へ疎開しました。バレエ団と共に、ロシアで最も歴史のあるレニングラードバレエ学校（現 A.Y. ワガノワ記念ロシアバレエアカデミー）もベルミ市へ移りました。

1942 年の夏にはベルミ市で初のバレエ学校公演が開かれ、ロシアバレエの未来のスターが出演しました。1945 年にバレエ団がレニングラードへ戻った後も、バレエ学校はベルミ市で、ベルミバレエ学校と改称して活動を続けることになりました。

現在、ベルミバレエ学校は、ボリショイバレエ学校、ワガノワバレエ学校と並ぶ主要なバレエ学校の一つであり、「ワガノワバレエメソッド」を継承する生徒たちを誇りに思います。

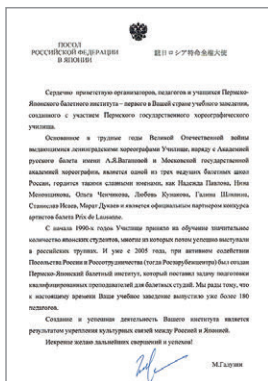
20 世紀の 90 年代からベルミバレエ学校は多くの日本人ダンサーも輩出しており、その中の多くが、卒業後にロシアの劇場で踊っておられます。

2005 年に、駐日ロシア連邦大使館並びにロシア国際文化科学協力センター（現 ロシア連邦文化科学協力庁）の協力の元、日本の愛好家達は、ロシア国立ベルミバレエ学校日本校を設立しました。世界的な優れた伝統ある教授法である「ワガノワメソッド」を、才能ある教師をロシアから招き、日本において修得することを切望していることを喜ばしく存じます。

ベルミバレエ学校日本校の生徒は、クラシックバレエ、キャラクターダンス、ヒストリカルダンスを学んでいます。すでに 200 名以上が卒業し、日本全国でバレエ教師として、子どもたちにロシアバレエを伝えておられます。

ベルミバレエ学校日本校の創立と積極的な創造的活動は、文化と教育の分野での露日交流の輝かしい好例です。ロシアの教師が直接指導をしている学校が、日本においてロシアバレエの伝統の継承に力を注いでいることは意義のあることです。

すべての卒業生、生徒へ創造的なご発展と舞台でのご活躍を願います。そして、今後ともロシアバレエとの印象的な新たな共同企画を望みます。



参事官、独立国家共同体・海外在住同胞関連事業及び国際人道協力連邦庁（ロシア連邦文化科学交流庁）駐日代表

I.B. チトフ

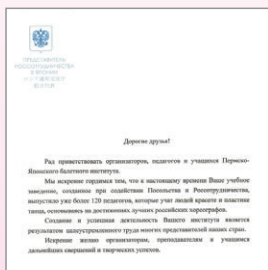
ロシア国立ベルミバレエ学校日本校の理事長、教師、生徒、ロシア連邦国立ベルミバレエ学校の皆様へ両校の共創公演に際し、ご挨拶の機会をいただき大変喜ばしく存じます。

我々にとって、ロシアバレエが日本で広がり、ベルミバレエ学校日本校のような学校が創立されるほどに好評を博していることは非常に快いことです。

ベルミバレエ学校は、戦時中にレニングラードからベルミへ疎開していた A.Y. ワガノワ記念ロシアバレエアカデミーのもと、有機的に著名なバレエ教授法であるワガノワメソッドを取り入れてきました。ベルミバレエ学校は、ロシアでも広く知られており、バレエダンサーやバレエ教師の教育を行うパートナーとして日本側が選んだことも偶然ではないでしょう。

日本のバレエには独自の歴史があります。その中で、日本のバレエダンサーがロールモデルとして正にロシアバレエを選ばれたことを我々にとって嬉しいことです。多くの方がロシアで学びたいと望み、多くの方がロシアの劇場と協同し、多くの方が生涯ロシアとつながり、ロシアの劇場で創造的な時間を過ごしています。

我々は、常に支援してきましたし、今後もロシアで学びたい日本の若い世代の方を支援します。ロシアには海外の生徒を支援するプログラムがあります。これらのバレエ学校の卒業した若いバレエダンサーがロシアと日本の友好と文化協力の「架け橋」となることを願います。





神奈川県議会議員
松田 良昭

私が、東海大学とモスクワ大学との第1回交換留学生団長として留学した1975年に、初めて観劇したのがボリショイ劇場での「白鳥の湖」でした。以前からロシア連邦最高芸術の一つがバレエであり、ロシアバレエの教授法「ワガノワ・メソッド」は世界が認める指導法であり、ロシア芸術の伝統と格式を継承していると聞いておりましたが、そのすばらしさに大きな感激をしたことを今でも忘れられません。

「ワガノワ・メソッド」を日本に伝承すべく設立された「ロシア国立ベルミバレエ学校日本校」は必ず「ワガノワ・メソッド」を日本に伝承、そして定着させることと、私も合気道、少林寺拳法の伝承者としてロシアとの交流を踏まえた一人として期待しております。

「ロシア国立ベルミバレエ学校日本校」が開校以来、日本のバレエ界で貢献されていることは広く知られてきました。今後とも、日露両国のバレエ交流と相互理解、そして「ロシア国立ベルミバレエ学校日本校」の更なる発展とご活躍をお祈りし、推薦の言葉とさせていただきます。



メドベージェフ大統領友好勲章受章者
女優 栗原 小巻

崇高なバレエ。バレエは、高い技術と深い精神性が求められます。

ロシア国立ベルミバレエ学校日本校が、確かな歩みで、日本バレエの発展に寄与している事、大変嬉しく、日ロ両国の関係者の皆様に、心からの敬意をお伝えいたします。

私が、バレリーナを志していた時、ボリショイの指導者にご指導いただいたのが、思い起こせば、正にワガノワメソッドでした。

鋼の強さ、鞭のしなやかさ、そして、美しい言葉、まなざし。――。

踊りの中で、心と身体が、一つになった時、芸術の精霊を感じる事が出来ます。

新しい時代、次の世代に受け継がれていく、聖なるたいまつ。

バレエは永遠の芸術です。

卒業式・入学式の風景 在日ロシア連邦大使館ホールにて

2005年



外務省文化交流部長 近藤誠一氏

2014年



校長・ロシア大使夫人と共に

2018年



2006年



ロシア本校 L.D. シェフチェンコ校長

2007年



2013年

2008年



2009年



2012年



文化交流庁駐日代表 K. ビノグラードフ氏

2010年



学 科 案 内

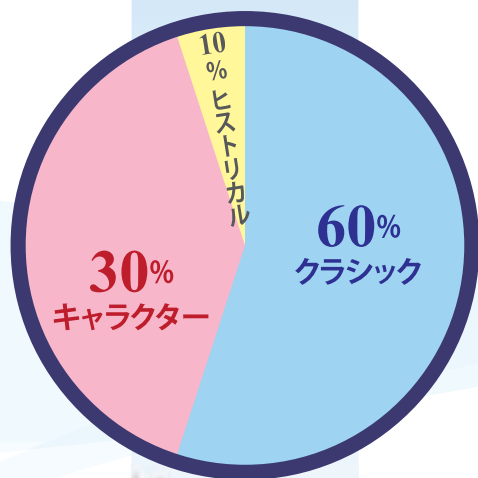
通 信 制

ペルミ・ワガノワバレエ 教 師 養 成 学 科

本学の目的は日本国内で本物のクラシックバレエダンサーを指導・養成する事が出来るクラシックバレエ教師を育てる事です。本物のクラシックバレエダンサーとしての最低条件は、全幕物（白鳥の湖、ドン・キホーテ、コッペリア等々）で踊られている3種のダンス（クラシック、キャラクター、ヒストリカル）を踊ることが出来るダンサーの事です。

その様なダンサーを指導。養成できる教師を育てる事が本学の目的です。日本ではこの100年に渡り、キャラクター、ヒストリカルを指導できる教師がいない為、全幕物を踊れるダンサーを育てる事が出来ないまま来ています。日本国内では、クラシックバレエダンサーはクラシックダンスを踊ればダンサーであるとの間違った認識を長年に渡り植え付けられてきています。

そのダンスの割合は：



ペルミバレエ学校日本校は業務提携により本校より公式に認知され設立された姉妹学校です。

●日本校の設立理念により業務提携に明記されている事

- ① ペルミ・ワガノワ・メソッド教授法の実技・理論は、ロシア国立ペルミバレエ学校の芸術監督の責任のもと、本校教師が授業を遂行すること、授業においてはペルミバレエ学校の教授法教科書を使用することを義務付けています。
- ② パートナーの日本側は、最新の日本バレエ教師に必要なと思われる教科を独自決定し、授業を設けることができる。

以上の設立理念により

- ・クラシックバレエ、ペルミ・ワガノワ・メソッド教授法実技と理論
- ・キャラクターダンス実技
- ・ヒストリカルダンス実技（歴史的民俗舞踊）
- ＊上記の授業評価は、現役で派遣されて来る本校ロシア人教授側によってのみ行われます。
- ・日本人講師授業（＊学年進級試験には含まれません。）

バレエ解剖動作・バレエ動作生理
コンテンポラリーダンス
バレエ史
プロデュース論
ロシア語・フランス語

等が行われるのが日本校、通信制です。

全 学 年 コー ス

3年間

ペルミ本校 1 学年～8 学年（10 歳～17 歳）の教師を養成

■スクーリング

年間 3 回（1 回約 9 日間）のスクーリングを実施
入学式 4 月初旬
春季スクーリング（4 月）
秋季スクーリング（9 月）
冬季スクーリング（1 月）

■カリキュラム（教授法教程）

注：代表的なカリキュラムの一例です。変更する場合があります。

●ロシア人教授による授業

[1 年目：1～3 学年]	[2 年目：4～6 学年]	[3 年目：7～8 学年]
クラシック	クラシック	クラシック
ヒストリカル（1～3、7 学年）	キャラクター	キャラクター

■資格

★ペルミ・ワガノワ・メソッド教授法取得証明書 (Diploma) または、ペルミ・ワガノワ・メソッド教授法教程修了証明書 (Certificate)
又、希望者は、日本校卒業後にロシア本校にて日本校の授業をベースにした短期集中研修修了で本校より教師資格証明書を取得できます。

- ・基礎学年コース（3 学年課題まで）への編入可 ＊別途手続き料金が必要です。
- ・本校課題 1～3 学年まで履修された場合、特別講座（「児童バレエ」、「体操」）を受講する事が出来ます。

資格取得者は、本学 HP 上の〈ワガノワ教授法・指導法維持向上 資格取得者推薦リスト〉に掲載されます。ワガノワ教師として指導活動をする場合、このリストへの登録が必要です。



注) 入学年度に「全学年コース」と「基礎学年コース」の合計入学者が5名に達しない場合は、開校しない場合もあります。

基礎学年コース

1 年間

ペルミ本校 1 学年～3 学年 (10 歳～12 歳) の教師を養成

■スクーリング

年間 3 回 (1 回約 9 日間) のスクーリングを実施

入学式 4 月初旬

春季スクーリング (4 月)

秋季スクーリング (9 月)

冬季スクーリング (1 月)

■カリキュラム (教授法教程)

注: 代表的なカリキュラムの一例です。変更する場合があります。

●ロシア人教授による授業

[1 ～ 3 学年]

クラシック

ヒストリカル (1 ～ 3、7 学年)

■資格

基礎学年教授法教程修了証明書 (Certificate)

- ・全学年コース (8 学年課題まで) への編入可 *別途手続き料金が必要です。
- ・本校課題 1 ～ 3 学年まで履修された場合、特別講座 (「児童バレエ」、
「体操」) を受講する事が出来ます。

児童・体操教授法 特別講座

児童バレエの教師養成

■講座

年 1 回 (約 8 日間) の講座を実施

■カリキュラム

注: 代表的なカリキュラムの一例です。変更する場合があります。

●ロシア人教授による授業

児童バレエ、遊戯、リトミック

■資格

履修証明書

体操の教師養成

[子供から大人までの身体作り]

■講座

年 1 回 (約 8 日間) の講座を実施

■カリキュラム

注: 代表的なカリキュラムの一例です。変更する場合があります。

●ロシア人教授による授業

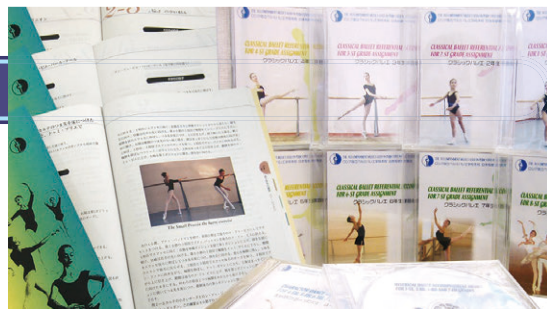
柔軟体操、筋力と柔軟性の強化

■資格

履修証明書

- ・本講座は、通信制 [バレエ教師養成学科] を卒業、または本学にて本校の 3 学年課題までを履修された場合のみ受講することが出来ます。
- ・特別講座 (児童・体操) 履修者は卒業試験にて、児童・体操教授法取得証明書 (Diploma) または、児童・体操教授法課程修了証明書 (Certificate) を取得する事が出来ます。

在校生用ワガノワ教授法教材と指導用教材



●日本語訳ワガノワ教科書

ペルミバレエ学校が日本校の為に特別に作成した公的ワガノワ教授法教科書

- ★クラシックダンス 1 ～ 8 学年用教科書とDVD
- ★キャラクターダンス 4 ～ 8 学年用教科書とDVD
- ★ヒストリカルダンス 1 ～ 3, 7 学年用教科書とDVD

「別講座で使用する教科書」

- ★デュエット教科書
- ★伴奏者訓練用教科書
- ★児童バレエ・体操教科書

●裕福な補助教材

- ★教師が、各学年（クラシック、キャラクター、ヒストリカル）のバレエ教室での指導用伴奏曲約 400 曲（CD10 枚）
- ★教師が各学年で修得すべきレベルのDVD映像（クラシック、キャラクタ、ヒストリカル）
- ★キャラクター民族舞踊舞台小品集DVD
- ★各学年毎の検定用（クラシック、キャラクター、ヒストリカル）DVD

●開校（2005 年）以来の全学年の在校生進級試験、卒業公開試験の視聴

- ★1 学年生の進級試験の視聴：15 本以上（クラシック、ヒストリカル）
- ★2 学年生の進級試験の視聴：15 本以上（クラシック、ヒストリカル）
- ★3 学年生の進級試験の視聴：15 本以上（クラシック、ヒストリカル）
- ★4 学年生の進級試験の視聴：15 本以上（クラシック、キャラクター）
- ★5 学生生の進級試験の視聴：15 本以上（クラシック、キャラクター）
- ★6 学年生の進級試験の視聴：15 本以上（クラシック、キャラクター）
- ★7 学年生の進級試験の視聴：15 本以上（クラシック、キャラクター）
- ★8 学年生の進級試験の視聴：15 本以上（クラシック、キャラクター）
- ★卒業生の公開卒業試験の視聴：14 本（クラシック、キャラクター、ヒストリカル バリエーション）

●ロシア本校より派遣されてくる現役のロシア人教師による指導

★先生方は、ロシア政府の公式ワガノワバレエ教師免許、又教授法免許を有している先生方もおり、ロシア文化省直属のロシア 3 大バレエ学校の一つである「ロシア連邦国立ペルミバレエ学校」にて現役・経験豊かな先生方よりペルミ本校の責任の基、本物の伝統ある本格的なロシアバレエメソッド指導を受け、ワガノワメソッドを修得します。

●授業はロシアバレエ学校留学者による日本語通訳付き

★授業は、ロシア人教師による直接指導で、ロシアバレエ学校に長期留学した日本人通訳が補助します。

●卒業資格証

- ★ペルミ日本校よりワガノワバレエ教師資格証が授与
- ★ペルミ日本校卒業生でロシア本校の公的なワガノワバレエ教師資格証を希望する者は、日本校 3 年間の履修課程を基に本校にて短期研修（約 2 週間）で本校より公的なワガノワバレエ教師資格証を得ることが出来ます。

●希望者は、ロシア本校での実学研修の実施

★卒業生・在校生は、ロシア本校にて実学研修（約 10 日間）に参加（本人と本人の生徒たち）できます。ご自身が日本校で指導を受けた先生方の授業を見学出来ますし、希望者は、授業に参加できます。全学年の授業（クラシック、キャラクター、ヒストリカル、男子授業、デュエット授業、体操、ストレッチ、児童バレエ、リハーサル）の見学ができます。研修参加者には、研修証（certificate）が授与されます。留学希望者は、試験も受けられます。



卒業生へのサポートと権利

●ロシア連邦政府奨学金推薦権

★卒業生は、ロシア連邦国立バレエ学校（ワガノワ、ボリショイ、ヘルミ）へ留学を希望する自身の生徒へ「ロシア連邦政府奨学金（1年～4年間の授業料免除）」候補生にヘルミ日本校経由で推薦出来ます。

●無料学習会参加／講習会への割引参加

★年間2～3回行われる学習会（クラシック、キャラクター、バリエーション）に無料参加できます。

★講習会（クラシック、キャラクター、バリエーション）への優先・割引参加、ご自身の生徒の優先・割引参加ができます

●バレエコンクールの審査員

★Prix du japon 主催のバレエコンクールに審査員として参加。

●ロシアバレエメソッド（ワガノワ）検定の審査員とその実施

★一般社団法人ロシアバレエメソッド教育振興協会主催の検定審査員、及び共催者として検定を実施実行できます。

★検定実施は、クラシック、キャラクター、児童バレエ・児童体操

★検定CD、DVDの大幅な割引購入

●ロシア連邦国立バレエ学校への留学推薦権

★ヘルミ日本校を通して、モスクワバレエアカデミー（ボリショイバレエ学校）、ヘルミバレエ学校、ノボシビルスクバレエ学校にご自身の生徒の留学推薦が出来ます。毎年、実行中。

●商標権の使用

★ヘルミワガノワバレエメソッド ★ヘルミワガノワバレエ教師 ★ヘルミワガノワバレエ検定

●開校（2005年）以来の全学年の在校生の進級試験、公開卒業試験を視聴

★開校以来の全ての進級試験（クラシック、キャラクター、ヒストリカル）

★卒業生の公開卒業試験が視聴できます。

●ヘルミ日本校発売のCD（約400曲）、DVD

★バレエ教室等々で使用するCD、DVDを割引価格で購入できます。

●ロシア人教師の派遣協力

★講習会の指導、バリエーションの指導等々

●本校校長、芸術監督、教授等々より祝辞、推薦状（有料）

★ご自身の発表会への祝辞、推薦状等々の取り寄せ日本語翻訳

●就職、アルバイト先の紹介







式

験

風

景



ロシア人教授、講師

タルスツーチン・ヴラジーミル・ニコラエビッチ 教授



ロシア連邦功労芸術活動家、ロシア連邦功労教師、モンゴル功労文化家、ペルミバレエ学校芸術監督

ペルミバレエ学校卒業後、プーシキン名称ゴーリキーオペラバレエ劇場にてソリストとして活躍。ルナチャルスキー名称国立舞台芸術大学（ギティス）卒業。ソ連文化

省の派遣でトルコのアンカラ市国立音楽院にて指導にあたる。バレエマスター教師資格取得。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ、デュエットクラス担当。ペルミバレエ学校芸術監督兼任。

ウラーノバ・リディア・グリゴリーエブナ 教授



ロシア連邦功労教師、北オセチア共和国功労芸術家

ペルミバレエ学校卒業後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場で活躍。その後、ワガノワバレエアカデミーで教育学を学ぶ。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ担当。

チェルニャエフ・セルゲイ・イワーノビッチ 教授



ペルミバレエ学校卒業後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場で活躍。

現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ、キャラクターダンス担当。

カトゥーソフ・エフゲニー・ヴラジーミロビッチ 教授



ペルミバレエ学校卒業後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場で活躍。その指導法は、アメリカやメキシコでも高く評価されている。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ、演技クラス担当。

コレネワ・ヴェーラ・グリゴリーエブナ 教授



ペルミバレエ学校卒業後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場で活躍。

ルナチャルスキー名称国立舞台芸術大学（ギティス）演技科卒業。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ、ヒストリカル、バレエ史クラス担当。

シラエワ・リンマ・アフチェミヤノブナ 教授



ロシア連邦功労芸術家

ペルミバレエ学校卒業後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場にてクラシックやキャラクターの主だった役で活躍。現在、ペルミバレエ学校キャラクターダンス担当。

スツェブリツォーバ・ナデジダ・ヴラジーミロブナ 教授



ペルミバレエ学校の卒業後、アメリカのジェイコブズ・ピロー、ポリショイ劇場で活躍。モスクワ国立舞踊アカデミー通信制教師学科卒業。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ担当。

コジンツェバ・イリーナ・ボリソブナ 教授



ペルミバレエ学校を優秀な成績で卒業。チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場で活躍。ワガノワ名称ロシアバレエアカデミーにて舞踊芸術の分野の学士号取得。

現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ、演技クラス担当。

ヴィストリツカヤ・エレナ・ヴラジーミロブナ 教授



教師・教授法専門家、第2勲章受章者

ペルミバレエ学校卒業後、レニングラードバレエ学校で学ぶ。その後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場にてソリストとして活躍。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ担当。

アレーキン・ビクトル・ヤコブレビッチ 教授



文化功労家

ペルミバレエ学校卒業後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場で活躍。

またペルミ文化芸術大学を舞踊専門家として卒業。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ担当。

ペトホーバ・オリガ・ワシーリエブナ 教授



ペルミバレエ学校卒業後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場で活躍。

現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ、キャラクターダンス担当。

ビソーチナ・ナタリア・イーゴレブナ 教授



ロシア連邦功労芸術家

ペルミバレエ学校卒業後、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場にてソリストとして活躍。ボロネジ市、カザン市より名誉ディプロマを授与される。ペルミ工科大学、ペルミ芸術文化大学で教鞭をとる。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ担当。

モハメドプール・ナタリア・ビクトロブナ 教授



ペルミバレエ学校卒業後、ペルミ芸術文化大学を卒業、芸術監督教師の資格を取得。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ、キャラクターダンス担当。

コロタエバ・オリガ・ヴラジーミロブナ 教授



ペルミバレエ学校在学中より、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場にて活躍。モスクワ国立舞踊アカデミー通信制教師学科卒業。現在、ペルミバレエ学校クラシックバレエ、ヒストリカル担当。

ハムジナ・エレナ・ビクトロブナ 教授



ペルミバレエ学校卒業後、プーシキン名称ニージニー・ノブゴロドオペラバレエ劇場、チャイコフスキー名称国立ベルミオペラバレエ劇場にて活躍。現在、ペルミバレエ学校キャラクターダンス担当。

リスツォーバ・リディア・アナトーリエブナ 講師



ペルミ音楽学校ピアノ科卒業。ワガノワバレエアカデミーピアニスト科修了。ペルミ大学音楽家卒業。現在、ペルミバレエ学校伴奏者。

日本人講師

八木 清市 (やぎ・せいいち) プロデュース論

1976年、有限会社ニケ企画事務所入所。現在は、有限会社ニケステージワークス。

同事務所にて、数々の舞台に舞台監督および演出として携わる。

現在、日本舞台監督協会員。日本照明家協会員。

他に、多摩美術大学非常勤講師。洗足学園音楽大学非常勤講師。城西国際大学非常勤講師などを在任、後進の指導にもあたっている。

主な演出作品の受賞歴：ワーグナー作曲 オペラ「妖精」

(日本初演 / 新国立劇場・第5回三菱UFJ信託音楽賞受賞)

神田慶一作曲 オペラ「僕は夢を見た、満開の桜の樹の下で」

(初演・第1回佐川吉男音楽賞受賞)

笈田ヨシとは、2010年パリにて中村福助のワークショップにて知り合い、2017年「マダムバタフライ」の演出助手として仕事をする。

村山 久美子 (むらやま・くみこ) ロシアバレエ史

舞踊史家・舞踊評論家。早稲田大学大学院文学研究科ロシア文学専攻博士課程満期終了。ロシアのプーシキン外国語大学、米国のハーバード大学大学院への留学を経て、現在、早稲田大学、東京経済大学、桐朋学園芸術短期大学、昭和音楽大学、工学院大学非常勤講師。読売新聞舞踊舞台評 28 年担当、日経新聞舞踊公演情報コラム担当、ダンスマガジン(新書館)ほか、各種誌紙に舞踊評論を寄稿。著書に「知られざるロシア・バレエ史」(東洋書店)DVD・解説書シリーズ「華麗なるバレエ 全10巻」(小学館)、「バレエ・ギャラリー」(学習研究社)、「二十世紀の10大ダンサー」(東京堂出版)ほか。訳書に「ワガノワのバレエレッスン」(新書館)。主な論文に「バレエに魅せられたプーシキン」「バレエ王国ロシアの地盤を築いた18世紀のバレエ移植」など。

軽部 裕美 (かるべ・ひろみ)

コンテンポラリーダンス・ボディコンディショニング

モダンダンスを望月辰夫氏、平林和子氏、クラシックバレエを鈴木恵美氏、バレエ・ヨガ・解剖学を融合したコンテンポラリーダンスを Peter GOSS 氏、関原亜子氏に学ぶ。1990 年より能美健志のパートナーとして創作活動に参加。アカデミックな動きの中にも静と動における表現力の確かさと音楽性の高さが認められ国内外の振付家との創作活動を数多くするほか、新国立劇場への作品提供、客演ダンサーとして出演。平成 10 年芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。平成 18 年文化庁在外研修員 パリ留学。

ダンスアットロ21 スクールオブダンスを能美健志とともに主宰。

昭和音楽大学バレエ科、東京スクールオブミュージック専門学校、東京ダンス&アクターズ専門学校にて講師を務める。

酒屋 仁 (さかや・じん) メイクアップ

チャコット株式会社、アーティスト・チーフ

中村 達郎 (なかむら・たつろう) 常任伴奏者

東京音楽大学附属高校を経て同大学ピアノ科卒業。

1994 年 1 月 故ギャビー・カサドシュ女史のレッスン受講の為訪仏。現在、ロシア国立ペルミバレエ学校日本校常任ピアニスト、および宮地楽器 Music Joy 吉祥寺&御茶ノ水バレエ教室ピアニストとして活動する傍らピアノ講師としても積極的に後進の指導にあたる。2013 年 7 月にはイタリアシチリア島のベルパッソ市にて開催された『IN CANTO SULL' ETNA エトナ音楽祭』のオープニング公演における日伊文化交流合唱団の伴奏を務め、2015 年 11 月にもイタリアのルッカで行われた日伊文化交流合唱団公演の伴奏を務めた。

西村 牧子 (にしむら・まきこ) プロデュース論

学習院大学法学部政治学科入学。東京アナウンスアカデミー演劇科・青山杉作記念俳優養成所第4期生。

現在、学習院大学 演劇部OB有志による演劇集団たつのおとしご会に所属。劇団事務局総務。「東京オペレッタ劇場」制作。「NPO 法人地球ことば村・世界言語博物館」理事。いけばな松花古流教授日本舞踊西川流名取。着物着付け師2級。

上野 房子 (うえの・ふさこ) バレエ史

舞踊評論家。ニューヨーク大学ダンス学部修士課程修了(ダンス評論・ダンス史専攻)。振付家ジョージ・バランシンの研究に心血を注いでいる。共同通信、音楽舞踊新聞のダンス公演評担当。明治大学、明治学院大学非常勤講師。訳書：ヴァレリー・グリーグ「インサイド・バレエテクニック」(大修館書店)、スキ・ショラー「バランシン・テクニック」(大修館書店)

杉本 亮子 (すぎもと・りょうこ) バレエ解剖動作・バレエ動作生理

お茶の水女子大学舞踊教育学科(動作学研究室)修士課程修了。2年間、文化庁在外研修員として NY にて研修。からだの動きの仕組みについて勉強すべく、Laban/Bartenieff Institute にて CMA (Certified Movement Analyst)、Physical Mind Institute にてピラティス・マットエクササイズの指導資格を取得。

現在、大学や公的施設でボディ・コンディショニングおよび解剖学、運動生理学の講座を担当している。

天野 夏子 (あまの・なつこ) フランス語

慶應義塾大学大学院修了。哲学修士。在学中ドイツ語・フランス語・イタリア語など欧米諸語を修める。パリ第四大学ソルボンヌにて研修。現在予備校講師の傍らアリオン・エコール・ドゥ・バレエを主宰。本学第一期卒業生。

今井 イリーナ (いまい・いりーな) ロシア語会話

国立モスクワ大学経済学部卒業。ロシア語研究所外国人向けロシア語教授法研究センター卒業。

明治大学経済学部、大東文化大学法律学部非常勤講師。



科目

●クラシックバレエ、ワガノワ教授法

アグリッピナ・ワガノワが確立した教授法は、1 学年から 8 学年まで各学年で習得するそれぞれの「バ」と舞踊技法の指導法が明確に規定されている。教師はその「バ」と舞踊技法が組み込まれた各学年のアンシェヌマンを厳格に指導し、生徒は繰り返し学習することによって、クラシックバレエを正確に体得するように作られたシステムである。

この 8 年間のカリキュラムを毎年正確に学び、階段を上るようにカリキュラムをこなすことにより、生徒はクラシックバレエの基本姿勢、頭部・腕・脚の協調と調和のとれた身体の動かし方を学び、さらに高度な回転、跳躍技からなるクラシックバレエの超絶技法を習得する事によって高みにまで到達する事ができる。

●キャラクターダンス

キャラクターダンスは、クラシックと異なる手脚のポジションとステップ、舞踊技法をもって踊られる。ロシア舞踊、ポーランド舞踊、イタリア舞踊、スペイン舞踊等の様式がある。ロシア本校では、このキャラクターダンスのために 5 年間のカリキュラムを定めている。「ポドス

コック」、「スカチョック」、「プリジョク」等のキャラクター特有の脚の運び方、「ストレート」と呼ばれる特有の脚のポジションから、クラシックバレエと全く異なる身体と顔の方向性など、これまで日本では学ぶことが極めて困難であった舞踊技法を習得する。

●ヒストリカルダンス（歴史的民俗舞踊）

ヒストリカルダンスとは、ヨーロッパの諸民族の間に長年にわたり培われ、踊られてきた歴史を持つ風俗・民族、文化、習慣に裏打ちされてきた舞踊である。クラシックバレエと異なるポジション、ステップを持ち、独自の拍子とテンポを有している。男女が組になり踊るものもあり、お辞儀もそれぞれのダンスを生んだ文化、民族、風俗によって異なる。

ポロネーズ、ポルカ、ワルツ、フランス風カドリール、シャコンヌなどのカリキュラムが定められている。バレエダンサーは、クラシックバレエのほか、このヒストリカルダンスの習得が必修であり、ワガノワ教授法教師の必修科目である。

●ロシアバレエ史

ロシアでは、西欧より数世紀遅れて 18 世紀にバレエが始まった。皇帝の庇護の下、帝室バレエ学校が開校され、続いて帝室劇場のバレエ団が創設され、ロシア・バレエは急激に発展していった。19 世紀後半には西欧を凌駕するレベルとなり、19 世紀末には巨匠振付家マリウス・プティパとチャイコフスキーの音楽により、バレエの代名詞「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」が生み出されるに至った。20 世紀に入ると、アグリッピナ・ワガノワがロシアの教育システムをまとめあげたワガノワ・メソッドにより、ロシアのバレエの水準はさらに高まり、世界のバレエ界をリードし、多くの名舞踊手を世に送り出すようになった。本授業では、帝政時代から現代までのロシア・バレエの発展の歴史を、映像を見ながら学ぶ。

●バレエ史

パフォーミングアーツとしてのダンスのルーツを探る。宮廷バレエの誕生、ロマンチック・バレエの誕生、ロシア・バレエの栄華、ジョージ・バランシンの抽象バレエ、バレエとモダンダンスの関係等を深く探っていく。

本学が世界に誇るワガノワ・メソッド教授法教科書

本学では、ロシア人教授が指導するにあたってベルミ本校＜ロシア国立名誉勲章ベルミバレエ学校付属教授法研究室＞が日本校のために特別に書き下ろした教科書を日本語に訳し、その教科書を読み（写真・副教材付）、口頭で説明し、教授が実演して見せて授業が行われ、頭の方向・手の位置・移動のタイミング等々調和のとれたメソッドを教え、その場で日本では指摘されなかった（教えられなかった）間違いを矯正され、身に付けていきます。

その中で、本学の学生は 1 年生から 8 年生までの各学年で習得するバと舞踊技法、そしてその指導法（理論）が厳密に定められていることを学びます。その学年で何を学ぶべきなのか、逆に何を学ぶべきでないのかを理論的・実践的に学び、年齢と技能に沿った身体に無理のない教授法を習得します。本学では教授法を身に付けると共にダンサーとしての技量も向上させていきます。



クラシック教授法
教程I



クラシック教授法
教程II



クラシック教授法
教程III



クラシック教授法
教程IV



キャラクターダンス
教授法教程I



キャラクターダンス
教授法教程II



キャラクターダンス教授法
教程III（副教材付）



キャラクターダンス
教授法教程IV



ヒストリカルダンス
歴史的民俗舞踊I
（副教材付）



ヒストリカルダンス
歴史的民俗舞踊II
（副教材付）



クラシック教授法
教程第3学年



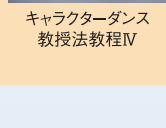
児童のための
教授法教程
バレエ編



児童のための
教授法教程



デュエットにおける
サポートの基本



舞踊伴奏用
専門技能向上
講座プログラム

●バレエ解剖動作

バレエを踊る、あるいは指導する際に、感覚的な理解や言語だけではなく、「体の関節や筋肉がどのように機能しているか」「重心がどのようにずれるとバランスが崩れるのか」「体の使い方のクセと怪我の関連性」などの解剖動作学的観点から動きをとらえることができるようになることは、バレエの動きをより深く理解することができ、正しいテクニックを習得し、パフォーマンスを向上させ、また的確なアドバイスを生徒に与える手がかりとなる。

本授業では、まず動作を理解するために必要不可欠な解剖学と動作学の基礎知識を得ることを第一目標とする。また怪我の発生原因、予防方法の知識を得、応急処置の実習を行い、自己管理にむけた実践的な能力を身につける。

●バレエ動作生理

バレエは独特な美の価値観により、必要な体力レベルが高いのに体をスリムに保っていなければならない。健康であり、美しい体で、より長くバレエを踊っていくためには、正しい知識と実践が必要不可欠であるが、無理なダイエットと激しいウラスのバランスがとれていないことによる体調不良などがダンサーの間で見られることも少なくない。

本授業では、バレエ解剖動作の知識をもとにバレエ特有の姿勢や動作の成り立ちを理解し、体力とダイエットのバランスのとれた体で踊ることを考えていく。

●プロデュース論

クラシックバレエはヨーロッパの歌劇場・宮廷で生まれ育った総合舞台芸術である。授業では、クラシックバレエを形成する舞台芸術の構成要素となる劇場舞台の形式や舞台装置、衣装、照明、音響など舞台制作の側面から解説する。さらにバレエ公演、発表会などの制作業務のプロセスを側面から考察する。

●フランス語

クラシックバレエ用語であるフランス語を言葉から解釈する。

●ロシア語会話

ロシアのクラシックバレエのより深い知識を理解するため、日常会話を中心としたロシア語の学習を行う。

●メイクアップ（随時）

クラシックバレエフルメイクのデモンストレーションと実習

●コンテンポラリーダンス

●ボディコンディショニング

自由選択

●ロシア本校実学研修

希望者はロシア本校での短期実学研修を受けることができます。

LICENSE

資格・証明書

本学では、各学年課題ごとに実技・口答試験を実施しております。その試験において規定以上の成績を修めると、次学年への進級が許可されます。

全学年コースでは、最終学年課題の試験において規定以上の成績を修めると、日本校を卒業することが認められます。卒業が確定した後「公開卒業（資格取得）試験」を受けます。その結果を得て、本校の教授陣によって成る資格委員会が「ベルミ・ワガノワ・メソッド教授法取得証明書（Diploma）」または、「ベルミ・ワガノワ・メソッド教授法課程修了証明書（Certificate）」のいずれかの証明書に相当するかを判断し、ゴーゴレバ L.L. 校長の了承のもとで発行された証明書が授与されます。又、希望者は、日本校卒業後にロシア本校にて日本校の授業をベースにした短期集中研修修了で本校より教師資格証明書を取得できます。

なお、基礎学年コース修了者には、「ベルミ・ワガノワ・メソッド教授法課程修了証明書（Certificate）」が授与されます。

*証明書（Diploma, Certificate）取得者は、本学 HP 上の「ワガノワ教授法・指導法維持向上資格取得者推薦リスト」に掲載されます。ワガノワ教師として指導活動をする場合、このリストへの登録が必要です。継続して登録するには、1 年間に 1 回以上、本学にて講習を受けることを義務付けています。未受講者は、リストより除外されます。これは、自己流に陥ることなく正統な教授・指導法の質の維持・向上発展、生徒への責任ある指導のためです。一度除外されても、再び講習を受ければ再度登録されます。このリストには、各人の更新回数も明記されます。



Certificate



Diploma



Certificate（基礎年コース）

注：日本校発行（全学年コース向見本証明書）

○すでに 200 名（2019 年 3 月時点）の卒業生がワガノワバレエ教師として活躍しております。

全学年コース

ベルミ・ワガノワ・メソッド教授法取得証明書（Diploma）

全学年の試験を規定以上の優秀な成績で進級し、卒業が認められた上で、「公開卒業（取得）試験」にて本取得証明書の取得に値すると判断された者に授与。

ベルミ・ワガノワ・メソッド教授法課程修了証明書（Certificate）

全学年の試験を規定以上の成績で進級し、卒業が認められた上で、「公開卒業（取得）試験」にて本取得証明書の取得に値すると判断された者に授与。

基礎学年コース

ベルミ・ワガノワ・メソッド教授法修了証明書（Certificate）

・1～3 学年課題の試験を規定以上の成績で進級し、卒業が認められた者に授与。
・基礎学年コース向けは異色の証明書です。

本学作成 レッスン CD



本学では、日本のバレエ教室のニーズに合わせ、ワガノワメソッドの各学年課題に沿ったプレパラション、テンポ、拍子で演奏された音楽 CD を作成しました。

クラシックバレエは 1 年生～8 年生課題の全 8 枚、その他にヒストリカルダンス伴奏曲、キャラクターダンス伴奏曲各 1 枚の全 10 枚に分かれ、それぞれ約 40 曲が収録されています。

ロシア三大国立バレエ学校の一つで、ローザンヌ国際コンクールのパートナー指定校のロシア国立ベルミバレエ学校にて首席ピアニストとして現在も活躍されているリストーバ L.A. さんの演奏です。

バレエを踊るうえで、音楽もまた不可欠な要素となっています。生徒には様々な曲を聴かせ、音楽を聞く能力を養わなければなりません。本学ではすべての実技授業をピアノ伴奏にて行っております。本学にて使用している伴奏曲の一例をこの CD に収めました。

ペルミ・ワガノワ検定 DVD

- ★クラシック
- ★キャラクター
- ★児童バレエ課程・バレエ体操



卒業後の進路

就職

- 宮地楽器、セブンカルチャーネットワーク、シダックス・カルチャークラブ、スポーツクラブ等の法人企業への推薦
- バレエ教室への推薦

留学 バレエ団

- ロシア国立ペルミバレエ学校
- ロシア国立モスクワバレエ・アカデミー（通称：ポリショイバレエ学校）
- ロシア国立ノボシビルスクバレエ学校
- ペルミバレエ団などのロシア国内バレエ団

高校卒業資格取得・バレエ留学・バレエダンサー、バレエ教師を目指す方々へ



入学した方々の志願者理由の一例

「正しいバレエ」、「正しいポジション」とは、一体何なのか。バレエを踊る私にとって永遠の課題であり、疑問でもあります。私は、どちらかと言うと欧米人寄りの体形で、バレエには、向いている身体だと言われてきました。ですが、怪我が多くレッスンや舞台に参加できないこともしばしばありました。原因は、自分のバレエが「正しくない」から。「正しくない」ということは自分で分かっているが、何が正しいのか、どうすれば正しいのか分からないから、「正しいバレエ」を求め、自身でワガノフメソッドに関する書籍や映像を研究し、ときには、ワガノフ教師が行うワークショップに参加し、少しでも「正しいバレエ」に近づけるよう、日々勉強と稽古を繰り返していました。そんな中、「ペルミ・ワガノフ教授法総合校」があることをインターネットで知りました。将来教師としてクラスを持つ際、子供たちに正しいバレエ、正しいワガノフメソッドを教えるべきだと私は思っています。今の日本では、バレエ教師の定義は、曖昧で誰でもバレエ教師になれることは周知の事実です。私は、この現状は良くない事だと思います。私自身も含め、子供時代に正しいバレエを教わらなかったが故に、大人になってから困ったり、キャリアを諦めたりするダンサーも大勢います。やはり子供の頃に正しいレッスン、トレーニングを行い、正しい知識を得ることは、非常に重要なことだと自分の身をもって感じています。私は、この「ペルミ・ワガノフ教授法総合校」で、ワガノフメソッドの正しい知識を身に付け、子供たちには、正しいバレエを教え、また自分自身もこの学校で学べる知識を最大限に活かし、ダンサーとして成長したいです。

私は、バレエ教師を目指しています。そのために、貴校の通信制ワガノフバレエ教師養成学科でペルミワガノフメソッドを学びたいと考えています。バレエ教師を目指したきっかけは、ある話を聞いたことです。ある生徒が有名な教師のレッスンを受ける機会がありました。そこで、「あなたはせっかく頑張っているのに、きちんとした教師に習ってこなかったよね。かわいそう。あなたは被害者ね。」と言われたそうです。その生徒は長年1人の教師に教わってきたそうです。悪気はなくても、教師のせいで才能を潰されてしまうことがあると気づかされました。日本は、特に、バレエを教えるために資格は必要がないので、誰でも教えることができます。よく理解してい

ない教師もいます。その教師が「被害者」を作ってしまう。私は、「被害者」を作らないためにも、正しい指導法を理解し、教えて、生徒ひとりひとりの才能を伸ばしていく教師になりたいと考えています。貴校の教える教授法は、バと舞踊技法の指導法が明確に定められています。教師の自己流や曖昧な教え方を防ぐことが出来ます。綿密に練られたアンシェマンで学ぶことは、生徒にとってとても有益なことだと思います。また、日本ではあまり学ぶことが出来ない、キャラクターダンス、ヒストリカルダンスの舞踊技法を習得することが出来ることも魅力的です。私は、生徒を「被害者」と呼ばせない、明確な知識を身に付けて、ワガノフバレエ教師になりたいです。貴校では、それを叶えられると考え、志望します。

私は、3才からモダンバレエを習っていて、何年か経ていくうちに、先生方が仰っているバレエ用語や指導・アプローチのやり方が様々で何が本当に正しいのかと疑問に思っていました。18歳のころからスタジオの先生のアシスタントも少ししていましたが、私自身も感覚で生徒たちに伝えるしかなく、試行錯誤していました。その時にペルミバレエ学校日本校を卒業された方に相談をした所、貴校で学ぶことを勧めていただき、また上京してからは、ペルミ・ワガノフはどのレッスンもしていただいて、今では疑問に思っていた事や、伝わらなかった事が理解できるのを実感したので、是非1から貴校で勉強したいと思い志願しました。今後、バレエ教師として指導を始めるにあたって自信をもって教えられるようになる為に、ペルミワガノフメソッド教師資格を取得したいと考えています。

私は、小さい時からバレエが大好きで常にきちんとバレエを学びたいと思っていました。しかし、高校まで通っていたバレエ教室では、メソッドがなく、基礎もきちんと教えてもらうことが出来ませんでした。なので自分がもし指導がしたくなった時にきちんと生徒にバレエが教えられることが出来るようになりたいと思ったのが、入学志願の理由です。何故、ペルミワガノフメソッドを選んだかというのは、現在お世話になっている服部百合子先生の勧めと個人的にロシアバレエが好きだからです。今の時代は、ネットでたくさんのバレエが見られますが、ロシアのバレエは、本当にポジションがしっかりしていて見ていてい

つも感動します。将来の生徒にロシアバレエの素晴らしさを伝えられる事が出来るように精一杯頑張りたい、資格を取りたいです。

私が本校を志望した理由は、3つあります。一つ目は、ヒストリカルダンス、キャラクターダンスを学びたいと思ったからです。今まで発表会で踊る機会があっても、キャラクターやヒストリカルの基本をバレエ教室では、なかなか学ぶ機会がなく、海外の映像などを見ても、なんとなく型を真似るだけでした。本校で基礎を学び、正しい形を身に付けたいです。二つ目は、ワガノフメソッドに基づいた正しい知識を身に付けるためです。「バ」をはじめ、アンシェマンの組み方、細かい身体の使い方を学ぶことで、バレエの理解を今よりもより深めたいです。三つ目は、どの学年・年齢でどういった「バ」を学ぶのか、どう教えるべきなのかを学びたいと思っています。今まで感覚だけで教えていたことを、より明確な知識として教えていきたいといふです。この3つを日本で学べるのは、ロシア国立ペルミバレエ学校日本校だと思い、志願しました。

私は、ずっとワガノフメソッドでバレエを踊ってきました。厳格なワガノフメソッドを習い、踊ることはバレエを始めたときから私にとって当たり前のことで、今までワガノフメソッドについてあまり深く考えたことはありませんでした。しかし自分がいざバレエ教師となり生徒たちの前に立った時、自分は本当に「バレエ」というものをしっかり理解し、生徒たちに教えられるレベルにいるのだろうか、と疑問を持ちました。バの一つ一つの意味、正確な足の運びなど疑問を持ち始めたから全てのことが自分の中であやふやだと感じ、教えることに対して不安をおぼえました。そこで今のままではダメだと思い立ち、自分の中で、バレエについて、特にここまであまいに習ってきたワガノフメソッドについてしっかり勉強し直したい気持ちが強く芽生えました。また、勉強し資格を持つことで、今教えているバレエが大好きな子供たちや大人の方たちにもより安心してレッスンをうけてもらえるのではないかと思います。将来バレエナになりたい子供たちに不誠実なレッスンをしないために、また自分自身の踊りの更なるレベルアップのために、私は、ロシア国立ペルミバレエ学校に入学し、教師資格を得るために精一杯勉強します。

実学研修（ロシア本校）

毎年2月上旬に約1週間の日程で希望者によるロシア本校への実学研修が行われます。

本学において学んだ教授法をロシア本校にて全学年、全科目（クラシック、キャラクター、ヒストリカル、デュエット、体操等）を見学し、本学にて師事した教授が実際にどのように授業を行っているのか体験し、更に可能なクラスに参加して本校の授業を受けることができますので（希望者はそのまま滞在を延長できます）、本学と本校の授業のスピードの違い、教授の指導態度等々、大変勉強になるかと思えます。特に、日本では見る機会の少ない男子クラスの見学は興味深いものとなるでしょう。

参加は各自の自由であり、学年の途中、卒業後も参加可能です。



ペルミバレエの会（卒業生・在校生へのサポート）

「ペルミバレエの会」は本学卒業生を入会対象とする、卒業後のサポートをするものです。

本学主催の各種講習会への参加割引や、復習をするための学習会の開催、ジャパンアーツさんやキョードー東京さんのご協力によるバレエ公演のチケット割引等の特典をご用意しております。また会員のみ開校以来の進級試験・公開試験の映像を本学HP上で閲覧することもできます。卒業後、指導していく過程で在学中には気が付かなかった疑問点が出てくるだろうと思います。特に学習会では、直接、ロシア人の教授に疑問点を聞き、指導を受けることができます。

本学で学んだ事をバレエ教育の現場で最大限発揮して頂くためにも、ぜひご活用ください。

*本学在籍生へも同等のサポートを提供しています。

講習会

授業以外にも、日本全国にて下記のような講習会を開催しております。

●ワガノワ検定認定審査員養成プログラム

●クラシックバレエレッスン（初級）

●クラシックバレエレッスン（中級）

●クラシックバレエレッスン（上級）

●体操講習会

●デュエット講習会

●オープンレッスン

●教授法講習会

●キャラクターレッスン講習会

●バレエ伴奏者養成プログラム

●技能向上講習会

*詳細は本学ホームページで随時お知らせしております。

卒業生の声

私達生徒は、全国各地より集まり、既に教室をもち教師として活躍されている方から、教えはじめたばかりの人など経験も年齢も様々でしたが、ペルミ本校の生徒として、全力で学びました。先生の一言一句、動きを全て学ぼうと常に緊張の空気の中、授業が行われていました。少しでも曖昧な点があれば、すぐにその場で指摘を受け、立ち尽くすことも多々あり、教えることの難しさ、バレエの奥深さ、そして教授法を学ぶ事の大切さを改めて感じる毎日でした。通信制では、短期間でたくさんのことを習得しなければならず、肉体的、精神的にも続けていけるのかという不安もありましたが、学期が終わるごとに学んだ事を自信につなげ、無事に卒業できたことを本当に嬉しく誇りに思います。私達を温かく見守り熱心に指導して下さいました諸先生方に感謝の気持ちで一杯です。

ロシア大使館での入学式を迎えた時は、

ロシアバレエの伝統的なメソッドを学べる喜びと、その厳しさに最後までついていけるかどうかの不安で一杯でした。初回のクラシックバレエの授業で、初めてバレエを習う子供達のように、両手をバーに乗せて正しい姿勢での立ち方を勉強した時、本当に基礎から学べる喜びに浸ったのも束の間、授業の始まりと終わりに必ず行うレバランスを全員が揃うまで何度も繰り返しやり直させられました。最後の8年生の試験を終えた今、初めて1年生で習う内容の大切さをおぼろげながら理解する事ができました。アカデミックに踊るということがどれほど大変なことなのか、身体の調和を取ることがいかに大切かを身をもって体験しました。

通信制は9日間という短期間で沢山のことを習得し、その都度行われる試験という目標をクリアしていかなければなりません。焦る気持ちの中、沢山の課題や先生の意図さ

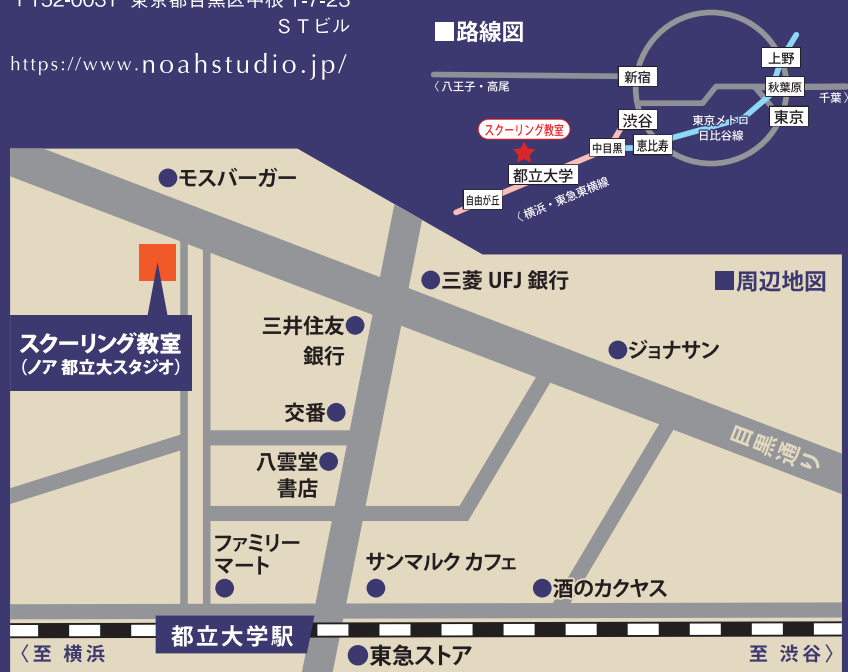
れることがすぐには理解できず、自分が情けなく涙がこみ上げてきたこともありました。自分自身をこんなに追い込んで必死に取り組む経験が今までどれ位あったろうかと思えます。本来ならば留学しなければ学べないことを、日本に於いて学ぶチャンスを得たことは、私達の人生の中で本当に貴重な経験となりました。ロシア人教授の方々は授業中はとても厳しく、しかし理解できるまで何度でも丁寧に教えて下さり、授業が終わった後は「皆さんよく頑張りました」と笑顔で労って下さいました。3年間ともに助け合い、教え合った仲間に出会えたことも大きな財産となりました。在学中に頂いた「教師は一生勉強です。バレエ教師としてのプロ意識と自覚を忘れず、生徒と心をともに育てられる教師を目指して下さい。」という言葉忘れず、日本校でワガノワメソッドを学んだことに誇りを持ち、正しく伝えていけるよう今後も努力していきたいと思えます。

スクーリング教室

(ノア 都立大スタジオ)

〒152-0031 東京都目黒区中根 1-7-23
S Tビル

<https://www.noahstudio.jp/>



■東急東横線：「都立大学駅」より徒歩1分

ロシア国立ペルミバレエ学校日本校

[運営] ロシア国立ペルミバレエ学校日本校株式会社

お問合せ・出願書類請求は本部までお願いします。

本部・教務課

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-2-6 日本橋大栄ビル7階

FAX : 050-3512-5360

E-mail : permballet-kyoumuka@cotton.ocn.ne.jp

<https://permballet-japan.com>